

フィリピン共和国

ハンス レオ J. カクダク大臣との意見交換会

5 月 27 日、フィリピン共和国移住労働者省（DMW）のハンス レオ J・カクダク大臣の来日に合わせ、中東情勢をはじめ日本商船隊に乗船するフィリピン人船員に関する懇談を目的とした「移住労働者省大臣と海事関係団体との意見交換会」が在日フィリピン共和国大使館で開催され、同大使館からの要請を受けた日本船主協会および国際船員労務協会、本組合が出席した。

フィリピン側からはカクダク大臣の他、DMWフェリタシタスQ・ベイ次官、海外労働者福祉庁（OWWA）パトリシア イボンヌM・カウナン長官、また関係政府機関の高官数名が出席。

日本側からは日本船主協会の長澤仁志会長、篠原康弘理事長、越水豊常務理事、加藤秀紀海事人材部長、多田恵一会長秘書、国際船員労務協会から綾清隆会長、池田良一常務理事、佐藤礼子事務局次長、本組合から田中伸一組合長代行、大山浩邦外航部長、土屋文平外航部副部長、豊満芳弘 I T F インспекターが出席した。

P G 内滞留船員の安全問題を中心に意見交換

意見交換会においてはペルシャ湾内への滞留を余儀なくされているフィリピン人船員の交代に関する議題が主となり、DMWからは水や食料の補給状況や家族への給与の支払い状況などに関する日々の情報確認体制、乗組員と家族に対するメンタルヘルスケアの実施状況などについて紹介された。また、日本商船隊においてペルシャ湾だけでなく紅海についても航行の見合わせを労使確認していることに関し、感謝の意が表された。

「海員だより」